

金型設計等におけるCADデータ転送時の互換性問題解決  
(中間評価)

質問

回答

E委員	ソフトのバージョンアップの際の対応はどのようにするのですか？	基本的な流れは変わりません。精度等をどうやって維持するかが問題です。
C委員	県内で実際困っている企業数はどの程度ですか？ それに対して何年かけてフォローしていくかなどの計画はありますか？	具体的に把握していませんが、企業相談において光造形機関係で4社あります。事業後のフォローに関しては継続して行う予定です。
F委員	データ公開とありますが、そのことによって参加企業がとまどうのではないのでしょうか？	データではなく、ノウハウの情報公開です。
B委員	この研究では、センターの光造形機を使うためのデータについての研究が基本となるのでしょうか？	そうなります。しかし、研究の方向的には一般にも応用できると考えております。
	県内で3DCADを使用している企業数はどのくらいですか？	だいたい20社ほどです。
	日本は2DCADが発達していますが、中国など世界では3DCADが主流です。このままの流れでは取り残されるのではないのでしょうか？	日本ではソフトの費用問題があります。中国ではメーカーがフリーでソフトを提供、バージョンアップの時から代金をとるようなスタンスを取っていますので、そこが普及の差になっています。
	ソフト互換について5つの問題提起がありましたが、一番多かった問題はどれですか？	始めのデータ作成時です。
	何社ほどのデータをとったのですか？	企業のデータはこれからです。今のところ4社ありますが、数は増やす予定です。
	データ作成時の問題点が一番多いという状況はどのようにして把握したのですか？	企業がデータを持ち込んで、こちらのシステムに読み込む際に発生しました。しかし、その辺の問題点を押さえておけば今後対応しやすくなると思います。